

# 目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	教育学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学部の基本理念である「子ども理解」の明示方法を検証し、その改善を図る。	→「学部ホームページにおける学部の理念・目的・教育目標の明示の有無」「履修心得における学部の理念・目的・教育目標の明示の有無」「学部ホームページの内容を検討する委員会の有無と開催頻度および検討の進捗状況」	B	B	B		
2. 学部の教育目標と教育課程の整合性を検証し、その問題点を抽出し、その改善を図る。	→「教育課程を常に検討する委員会の有無と検討の進捗状況」「実習科目を常に検討する委員会の有無と検討の進捗状況」「教育課程および実習科目の運営を担当する教職員の連絡調整に関する会合の有無と検討の進捗状況」	B	A	A		
3. 教育課程の編成・実施方針の学生への周知方法を検証する。	→「履修心得、実習の手引き等、学生向けパンフレットの有無とその継続的改善の有無」「新入生および在学生に対する履修指導、オリエンテーションの開催の有無と頻度」	B	B	A		
				☆		
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

## 《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	学部ホームページ、履修心得に学部の理念・目的・教育目標を示すと共に、幼児・初等教育学科と臨床教育学科に分けて、学科毎に、学部全体の理念が各学科の教育目的・目標とどのように関係しているかを卒業要件と共に示している。学部ホームページの内容を検討する委員会を設置し、概ね月1回の頻度でホームページの内容の課題検討を行っている。
目標2	カリキュラム委員会、実習委員会は月1回、幼稚園教員・保育士養成課程担当者会、小学校教員養成課程担当者会は概ね2ヶ月に1回開催し、学部の教育目標と教育課程の整合性に関する課題を明確化して、完成年度後の改善に向けて検討を重ねている。2011年度の春学期の終わり（7月28日）には、教育学部教員懇談会を開催し、3、4年生の研究演習選択の方法および、教育目標と今度の課題について協議した。
目標3	教育課程の編成と実施方針を学生に周知するため、学部ホームページ、履修心得、実習の手引き、学生向けパンフレット等を用いて履修指導を行っている。新入生には、履修に関する学部全体のオリエンテーションに加え、学科ごとのオリエンテーションを行っている。これら学生への周知方法については、月1回開催されるカリキュラム委員会、実習科目ごとの担当者会、実習委員会で、課題改善と情報の共有化を図っている。
備考	2011年度にディプロマポリシー、カリキュラムポリシーを整理し、アドミッションポリシーと併せてホームページに掲載した。